

---

# ベランダ

姫華

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ベランダ

### 【Nコード】

N5685C

### 【作者名】

姫華

### 【あらすじ】

2年前 私達の恋は始まった。この物語は、実話を元にしたフィクションです。楽しんで下さい

## 第1話：ペランダ

2年前

私達の恋は始まった。

私は、西田 彩。今日から中学生…。またあの季節がやって来た。  
私と宏鷹が別れた日…。

これは2年前、私と宏鷹の切ない？物語です。

## 第2話：出会い

「おい…ここ俺の場所なんだけど」

「は？そんな関係無くな？」私は廃墟になった中学校のベランダにいた。

…これが私達の出会いだった…

「は？俺の言う事聞けねえの？」

「私、お前と友達じゃないし言う事聞かないよ？」

「上等じゃん？お前名前何？」

「西田彩だけど？てかナンパ？」

「は？ちげーし！俺、高田宏鷹。友達になろーぜ？」

「いいよ！メアド教えて？」

ワラ》

「お前こそナンパ？ワラ》」

私達はメアドを交換して、たわいもない話で盛り上がり、それからしばらくして、

また明日この場所で会う事になった。

次の日、私は何故か昨日の事を思い出すとドキドキしていた。

…私、何ドキドキしてんだろ。

「プルルル…プルルル」

「はい。もしもし」

「あつ！俺、俺！」

「俺おれ詐欺ならお断り！」

「違うし！俺だよ。宏鷹だけど…今日来れる？」

「うん。今から行こうかなあ…って思ってたところ！」

「じゃあ今から来て！」

「うん。bye x 2」

この時から  
あ  
もいう私はあなたに恋してたのかもしれないね？…宏鷹。  
のベランダに着くと、宏鷹がいた。

「宏……鷹…？」

「おう！彩あ！おせえよ。」

「てかさあ今からどつか行かねえ？」

「どっかって何処？」

「ゲーセンとかゲーセンとかゲーセン！！」

「結局ゲーセン行きたいんじゃない？」

「じゃあ行こう！…つか足あんの？お前」

「あつ！…歩いて来たから足ない。」

「はあ…仕方ねえ！俺が乗せるしかねえな」

「まじで！サンキュー！乗せてくれんの？」

「しっかり掴まっとけよ！」

…

しばらくして無事ゲーセンに着いた。……

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5685c/>

---

ベランダ

2011年1月15日22時14分発行